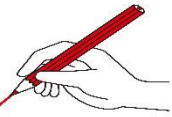


Move Mountains

5年生通信

8月27日59号



○岐阜県海津市の歴史は○○との戦いの歴史である



この写真から・思ったこと・気付いたこと・分かったことを挙げます。

川

- ・流れがゆるやか（よくわかりましたね！また理科で川の流れの学習をします）
- ・繋がっているところがある
- ・青い ・太いところと細いところがある

地形

- ・土地が分かれているところがある
- ・平たい（高低差が少ないってことだね、と付け足してくれた子がいましたナイス！）
- ・奥に山が見える
- ・岐阜県と愛知県の間

建造物

- ・川の上に電線が通っている
- ・船は写ってない
- ・橋が多い（4つ？）
- ・塔がある
- ・建物が写真中央（上の方）に密集している

など、短時間でかつオンラインの子たちからも積極的に出てきました。たった1枚の写真からでも、これだけの情報を受け取ることができるのですね。

さて緑が広がり、大きな川に囲まれたこの地の歴史を見てみます。



明治29年



昭和34年



昭和51年

伊勢湾台風により水没した(三重県長島町)

つまり、この地の歴史は、**水害との戦いの歴史**なのですね。

ここまで知っても、まだ少し遠いところの出来事でしかありません。自分たちの生活とリンクすることで、さらに興味がわきます。そこで、瀬戸市の洪水ハザードマップを用意しました。瀬戸川のハザードマップです。

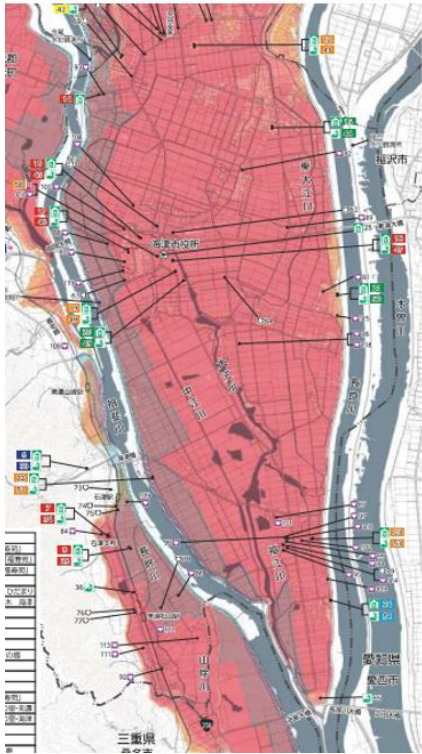


想定では0.5m未満となっています。

すぐに坂があるので、範囲も狭くなっています。



海津市はどうでしょう。



真っ赤になっています。

かなり衝撃的ですね。教室でも悲鳴に近いどよめきが起こりました。

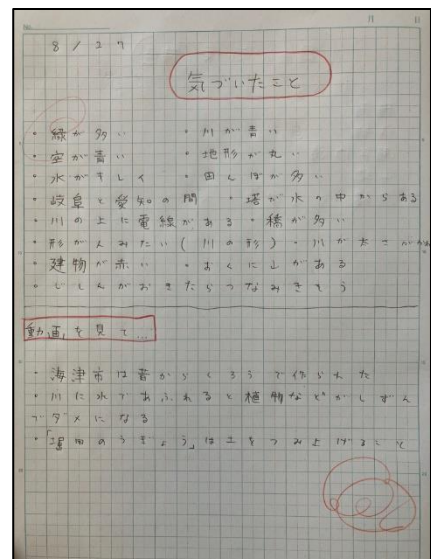
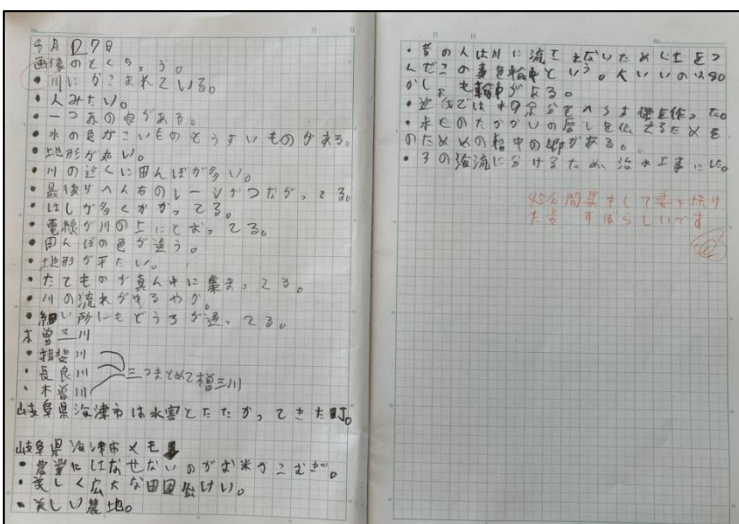
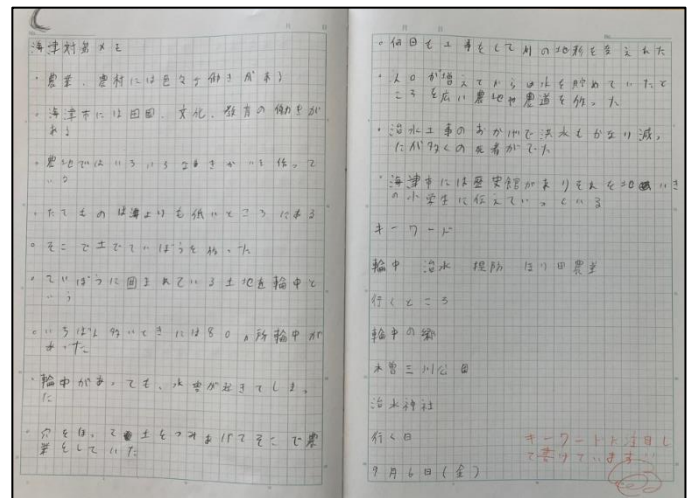
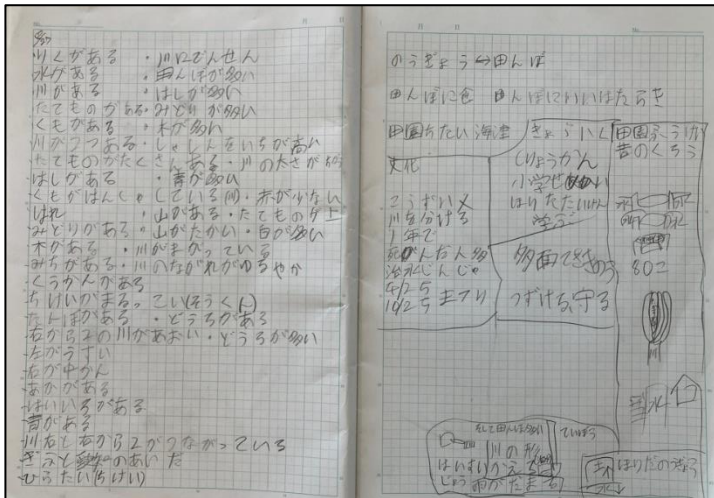
濃い赤 = 10~20m未満なので、建物5階以上の高さも想定されています。

ここまで来たらもう「海津市の水害対策」を調べずにはいられません。

「どうしてここに住んでいるのだろう」ということも含めて調べ、まとめていきます。

このたった45分間の授業のノートです。熱中度合いが

見て取れます。鉛筆が全然止まらない子が多数いました。



さらに、実際はどうなのか。もう気になって仕方ないと思います。

来週9月6日（金）にフィールドワークを計画しました！現地に行きます。

本日（8月27日）16時にお知らせのメールをいたしました。お弁当の用意をお願いいたします。

ただの少し遠い土地の出来事でしかなかったことが、一気に自分事になったと思います。どんなことを調べ、まとめていくのかとても楽しみです。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

